

漢和防務評論が大連で建造中の国産空母 001A の欠点を指摘、

中国専門家がそれに反論

環球網軍事 20170124 18:29:00

阿部信行

(訳者コメント)

大連で建造中の中国国産空母 001A に対し、漢和防務評論の平可夫氏が誌上でその欠点を指摘していることは周知のことです。
この指摘に対し、中国の空母専門家が反論しています。
指摘した欠点は妥当なもので、反論は極めて苦しいものに見えます。
中国専門家は平可夫の”あさがし”であると反論し、中国の 001A 建造は妥当な結論の一つであるとしています。

環球時報－環球網報道 記者 劉揚

台湾自由電子報の 24 日の報道は：大陸空母遼寧艦が現在行っている遠洋訓練が注目を浴びている。しかも大陸初の国産空母（001A）はまもなく完成すると述べた。報道は、軍事評論家平可夫の話を引用し：大陸のこの空母は 1970 年代のロシア製空母のコピーである、”その欠点も引き継いでいる”とした。大陸の空母専門家李傑は：001A の外観がクズネツォフ号に似ているかもしれないが、内部系統と艦載武器は完全に現代化しており、平可夫の言い方は、”あさがし”であり、何でも知っている口ぶりだ、と述べた。

台湾メディアの報道によると：漢和防務評論の平可夫は：大陸が自力開発した 001A 型空母の採用したモデルはロシアの”クズネツォフ”号空母で 1970 年代に設計され、遼寧とは同一レベルである、と述べた。平可夫は：”クズネツォフ”は昨年イスラム国（IS）を攻撃した際、全く機能しなかっただけでなく、SU-33 及び MIG-29 を各 1 機失った、と述べ、「今日の”クズネツォフ”は、明日の 001A 空母である」と直言した。また平可夫は：001A 空母の外形、寸法から見ると、完全に”クズネツォフ”の複製品である。また 1970 年代の産物であることから、大陸は過去の設計を改善してはならず、いわばその欠点すら複製している、と指摘した。

大陸空母の専門家李傑は、24 日環球時報の記者に対し：平可夫の言い方は、あらゆる方式で中国空母発展を中傷し、故意に泥を塗って、中国の空母発展が何の取り柄もないとし、出鱈目な方式で自己を持ち上げ、中国空母の建造と発展過程について何でも知っている口ぶりだ、と述べた。實際上、いかなる国家であろうとも、空母のような巨大システムを開発するときは、簡単な方式から複雑な方式に進むものである。如何なる国家も、零からニミッツ級核動力空母を開発することはできない、と。

李傑は：最初の国産空母 001A は、” クズネツオフ ” と確かに外形が似ている。しかし外形が似ているからといって、中国国産空母が現代の作戦に使えない、或いは現代の作戦に適応できないと言うことはできない。しかも中国国産空母は、艦橋、レーダー、艦載武器、格納庫設計、機電系統に一連の改修を行っている。スキージャンプ台の角度も微調整している。外観は似ているが、大部分の武器と内部系統はすでに更新され、新たに設計された新たな内容を持った空母に相当する。同時に、中国国産空母の作戦理念は、欧米の空母の作戦理念に接近している。すなわち艦載機を主要な空母作戦戦力としている。この点は、旧ソ連とロシアの” 航空機搭載型大型巡洋艦 ” の考え方である、艦載武器と艦載機を結合させる理論とは、完全に異なっている、と述べた。

平可夫の” 欠点すら複製している ” との言い方に対して李傑は：これは、ひょっとして中国国産空母が採用したスキージャンプ方式を指しているのであろう。スキージャンプ方式は最良の方式ではないが、実用的な方式ではある。現在、空母を保有する 9 個の国家中、大部分がこの方式を採用し、老練な西側の軍事強国である英国さえも最新型空母にスキージャンプ方式を採用している、と。また李傑は：中国空母の将来への環境順応と直面する可能性のある脅威に対処するために、国産空母が通常動力とスキージャンプ方式を採用するのは、それも妥当な方法の一つである、と述べた。さらに彼は：中国が 001A を建造するのは、米国核動力空母と戦うためではなく、この空母の開発を通じて、空母の設計と建造過程を完全にマスターする。そして中国に新たな作戦理念を発展させ、新型の海上作戦モデルをマスターする。さらに空母編隊の編制モデルを構築し、将来建造する大・中型核動力国産空母のための準備をするのだ、と述べた。

以上